

# 教育 の人

浦安の子どもたちのために様々な場面で

活躍してくださっている方たちを紹介します。

## 理科教育推進教員



理科教育推進教員を代表して、東小学校、入船小学校で働く2名の先生にインタビューしました。

### 理科教育推進教員の仕事を教えてください。



**岩本** 理科の授業について、担任の先生と一緒に相談しながら、実験や観察に必要なものを考え準備をしています。子どもたちが実験や観察をしたときに、なるべくうまくいこうと考えるながら準備をしています。特に生き物を扱う実験や観察の場合は、そのときに使えるようにしておかなければなりません。

**加藤** 授業の準備だけでなく、授業自体にも、もう一人の先生として参加します。実験や観察の手伝いはもちろん、子どもたちの様子を見たり、つぶやきを聞いたりして、準備したものが本当に良かったか、改善の余地はないかということを考えるようにしています。子どもたちの学習がうまくいように、担任の先生と協力して授業を進めています。



### この仕事をしていて、どんな時にやりがいを感じますか。

**岩本** 子どもたちが、驚きの声を上げたり、目をキラキラさせた表情を見せたりした時がうれしいです。また、実験や観察の準備をするときも、子どもたちが驚く様子を期待して、ワクワクしながらやっています。担任の先生に実験などを伝える時も、先生たちが驚いてくれるととてもうれしいです。

**加藤** 子どもたちと一緒に考えたり答えを見つけたりした時に達成感を感じます。子どもたちのそのような姿を見た時に、予備実験※を何度もしてよかったなと思います。また思ったような結果が出なかったとしても、なぜうまくいかなかったのか、というところまでを子どもたちは考えています。その姿を見た時も、とても素晴らしいと感じています。

### 理科の学習を通して、子どもたちにどのようなことを感じてもらいたいですか。

**岩本** 子どもたちは、先取りの学習をしていて知っていることが多いです。でも、本物に触れたり見たりしていないことも多いです。ですから、この理科の学習で本物を知ってほしいし身近に感じてほしいです。そのために、なるべく多くの子どもが実験や観察ができるように準備しています。実際に、「知っている」と言っていた子たちも、本物を見てしっかりと驚くところは本当に面白いです。

**加藤** 理科の魅力は、決まった答えがあるようでないようなところだと思います。自分が予想していないことが起こった時にも、なぜそうなったのかと考えなければなりません。理科の学習を通して、物事をしっかりと考えられる子になってほしいと思います。また、それを発信できるようにもなってほしいですね。

### 最後に、おすすめの実験や取組があれば教えてください。

**岩本** 空気が温まるとふくらむ実験です。教科書などではペットボトルを利用して温めて、口につけた栓を飛ばすようにしていますが、丸型フラスコを水でぬらしてやると、お湯の温度が下がってもうまくいきます。ぜひやってみてください。



飛を丸温型フラスコを飛ばす

**加藤** 空気の温まり方を線香の煙を使って確かめる実験です。教科書では、使用する熱源がカイロなのですが、これだとなかなか温まりません。そこで、保冷剤を使います。保冷剤をお湯で温めると、温かさが長続きし、この実験もうまくいきます。電子レンジで温めたり、直接火にかけたりするのは危険なので、絶対にしないでください。

※ 授業を行う前に、その学習で実施する実験を試して行う実験のこと。何回も行い、適切な道具や条件などを探り、実験のための準備を整える。

## 取組紹介

理科教育推進教員は、理科の学習のために様々な準備を行います。実験や観察器具の準備だけでなく、予備実験を何回もすることにより、実験の成功率や安全性を高めています。

実際の授業では担任の先生と一緒に子どもたちの学習のサポートをします。実験器具の使い方や観察の仕方などをアドバイスしたり、担任の先生と相談して授業の進め方を考えたりします。



▲顕微鏡の使い方を確認



▲子どもの質問に丁寧にアドバイスする  
(東小 岩本先生)